

NEWS RELEASE

報道関係者各位

2023年10月31日

株式会社ナガセ

東進ハイスクール・東進衛星予備校

【東進】これまでに約9万人の高2生・高1生・中学生が挑戦！**大学入学
共通テスト「情報Ⅰ」体験模試****【第3回】11/18(土)実施****共通テスト準拠の「情報Ⅰ」模試は東進だけ！スピード返却&解説授業**

東進ハイスクール・東進衛星予備校(以下、東進)を運営する株式会社ナガセ(本社:東京都武蔵野市 代表取締役社長 永瀬昭幸)は、2025年実施の「大学入学共通テスト」より新たに出题される「情報Ⅰ」を早期に体験し学習開始の機会としていただくため、2月・7月に続き3回目となる『大学入学共通テスト「情報Ⅰ」体験模試』(高2生・高1生・中学生対象)を、11月18日(土)に実施します。これまでに約9万人が受験した模試です。通常受験料は1,100円(税込)ですが、東進の各種イベント参加者および学校の先生からのご紹介の場合には特別無料招待となります。

これまでに約9万人の高2生・高1生・中学生が挑戦！**第3回 大学入学共通テスト
「情報Ⅰ」体験模試****11月18日(土) 共通テストに準拠した
「情報Ⅰ」の模試は東進だけ!!**
高2生・高1生・中学生 対象**「読み書き計算、情報Ⅰ」という時代はすぐそこに。****「情報Ⅰ」は高校生が実社会に出た時に、文字を読むことと同様のベースとなるリテラシーです。**

2025年から大きく変化する大学入学共通テスト。そのうちのひとつが「情報Ⅰ」の新設です。新課程入試1期生の高2生は当然過去問がない、誰も受験したことのない未知のテストに挑むことになります。そこで東進では、2022年11月に共通テスト「情報Ⅰ」の問題作成の方向性と試作問題が公表されたのを受け、その内容に準拠した大学入学共通テスト「情報Ⅰ」体験模試の第1回を2月12日(日)に、第2回を7月15日(土)に実施。すでに全国の高2生・高1生・中学生、約9万人が挑戦しました。

大好評につき、11月18日(土)に第3回を実施する運びとなりました。何度も挑戦することで、本物の力が身につきます。すでに受験したことがある人も、初挑戦の人も、この模試をきっかけにこれからの社会で活躍するために欠かせない「情報力」を身につけることで、未来を切り拓く力へとつなげてほしいと思います。

大学入学共通テスト「情報Ⅰ」体験模試 実施要項

①日程 2023年11月18日(土) 15:00~17:30(予定)

②受験料 1,100円(税込)

ただし、東進の各種イベント参加者および学校の先生からのご紹介の場合には特別無料招待

③申込方法 東進ドットコム(www.toshin.com)内の申込フォームに必要事項を入力。または校舎受付。

④申込締切日 2023年11月15日(水) ※校舎申込の場合、席が空いていれば直前まで受け付けています。

⑤成績表返却 2023年11月24日(金)より返却開始予定

⑥対象 高2生・高1生 意欲ある中学生も受験可

⑦受験会場 東進ハイスクール各校舎・東進衛星予備校各校舎

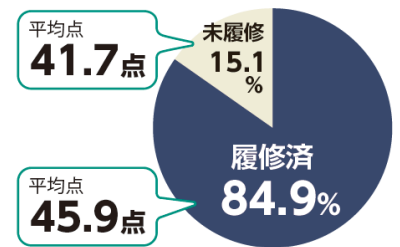
⑧試験時間 60分

⑨出題内容 2022年11月に大学入試センターから公表された試作問題と同じ大問構成・形式で、かつ同レベルの問題を出題します。

『大学入学共通テスト「情報Ⅰ」体験模試』結果からわかる対策と訓練の重要性

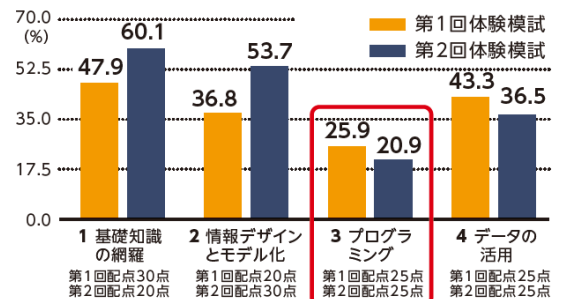
①「情報Ⅰ」履修有無と平均点の関係性[第2回実施時のアンケートより]

第2回受験時に実施したアンケートの結果、受験者のうち84.9%が「情報Ⅰ」をすでに学校で履修していました。履修の有無による平均点の差を比較したところ、履修済みの生徒の平均点の方がやや高いものの、差はあまりありませんでした。教科書の内容を一通り学ぶだけでは不十分であり、問題演習を通じて思考力の養成はもちろん、知識をアウトプットし得点に結びつける力を鍛えることが必要です。



②大問別の平均得点率(%)からわかるプログラミングの難しさ

平均点を大問別に見てみると、大問3のプログラミングの得点率が他と比較して低いことがわかります。知識があることを前提に、実際にコードに落として使えるかを問うプログラミング問題での苦戦が明らかになりました。多くの問題を解いてコツをつかむことから対策をスタートしよう。



【株式会社ナガセについて】

1976年創立。日本最大の民間教育ネットワークを展開するナガセは「独立自尊の社会・世界に貢献する人財」の育成に取り組んでいます。有名講師陣と最先端の志望校対策で東大現役合格実績日本一の「東進ハイスクール」「東進衛星予備校」、シェア NO.1の『予習シリーズ』と最新のAI学習で中学受験界をリードする「四谷大塚」、早期先取り学習で難関大合格を実現する「東進ハイスクール中学部」「東進中学 NET」、私大総合型・学校推薦型選抜(AO・推薦入試)合格日本一の「早稲田塾」、幼児から英語で学ぶ力を育む「東進こども英語塾」、メガバンク・大手メーカー等の多くの企業研修を担う「東進ビジネススクール」、優れた AI 人財の育成を目指す「東進デジタルユニバーシティ」、いつでもどこでもすべての小学生・中学生が最新にして最高の教育を受けられる「東進オンライン学校」など、幼・小・中・高・大・社会人一貫教育体系を構築しています。2022年9月には、幼児～中学生対象の世界標準のプログラミング学習「東進CODE MONKEY」を新たに開講しました。

また、東京五輪個人メドレー2冠の大橋悠依選手をはじめ、のべ47名のオリンピックを輩出する「イトマンスイミングスクール」は、これからも金メダル獲得と日本競泳界のさらなるレベルアップを目指します。

学力だけではなく心知体のバランスのとれた「独立自尊の社会・世界に貢献する人財を育成する」ためにナガセの教育ネットワークは、これからも進化を続けます。

【本件に関する報道関係者の方からのお問い合わせ先】

株式会社ナガセ 広報部 担当:市村(いちむら)、海老根(えびね)

TEL:0422-44-9001 Mail:pub@toshin.com